

マッチング推進事業・有望テーマ事業化推進事業

公募要領

平成22年7月
財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
新産業創出交流センター

1. 背景

けいはんな学研都市（関西文化学術研究都市）には、120を超える研究機関・大学・企業が立地しており、多くの先端的な研究成果を生み出しています。新産業創出交流センターは、これらの研究者や、けいはんな学研都市とその周辺に立地し新事業の創出・拡大に取り組む中小・ベンチャー企業を核とする人的ネットワーク「KIT コミュニティ」を強化することにより、けいはんな学研都市発の新事業が次々と展開する「けいはんなイノベーションクラスター」を形成し、もってけいはんな学研都市の活性化並びに関西経済の持続的な発展に寄与することを目指しています。

2. 目的

本事業では、「けいはんなイノベーションクラスター」形成を推進し、けいはんな学研都市発の新事業を次々に創出させることを目的として、中小・ベンチャー企業による新事業創出・拡大の取り組みを総合的に支援します。

3. 公募内容

3.1 マッチング推進事業

(1) 支援事業の概要

当センターは、先進的な新商品・新サービスを保有する中小企業・ベンチャー企業の販路開拓を支援する仕組み「けいはんなマッチングプラットフォーム」を設置、運営します。

販路開拓先は、当センター新産業創出会員の企業会員（関西経済連合会の代表的会員企業）59社（別紙1参照）とします。

採択された「新商品・新サービス」に対しては、コーディネータがマッチング先への提案書の作成を支援し、提案・交渉活動をサポートします。また、展示説明会での発表や有望企業紹介冊子への掲載など多面的な支援を図ります。

(2) 募集内容

【別紙1】「けいはんなマッチングプラットフォーム 販路開拓先企業」に記載された大手企業への販路開拓を希望する先進的な「新商品・新サービス」を募集します。

(3) 事業実施期間

採択決定日から平成23年3月31日まで

(4) 採択予定件数

10件

3.2 有望テーマ事業化推進事業

(1) 支援事業の概要

当センターは、けいはんな学研都市及びその周辺から生まれた有望な新技術・新商品の事業化を支援します。

採択された「事業化テーマ」に対しては、コーディネータが販路開拓・拡大支援、新規事業連携支援、資金獲得支援、起業支援、技術移転支援、海外ビジネス支援等、事業化に必要な支援を行います。

(2) 募集内容

けいはんな学研都市及びその周辺に立地する中小・ベンチャー企業が保有する有望な新技術・新商品、または、けいはんな学研都市の研究機関や研究・事業化プロジェクト等から生まれた有望な新技術・新商品を基に、新事業の創出・拡大を目指す「事業化テーマ」を募集します。

(3) 事業実施期間

採択決定日から平成23年3月31日まで

(4) 採択予定件数

10件

4. 応募について

(1) 応募要件

- ① 応募者は、中小・ベンチャー企業であること。
- ② 応募者は、当センターが運営する人的ネットワーク「KITコミュニティ」の会員であること。（「KITコミュニティ」には、いつでも入会できます。）
- ③ 事業分野は、ICT、高度ものづくり、組み込みシステム、機械、材料、部品、及び環境・エネルギー、健康・福祉を対象とする。

(2) 応募受付期間

平成22年7月20日（火）から平成22年8月10日（火）[17:00必着]

(3) 提出先、問合せ先

本公募に対する提案書の提出先およびお問合せ先は、以下の通りです。

<提出先及びお問合せ先>

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7 けいはんなプラザ ラボ棟3階
財団法人 関西文化学術研究都市推進機構 新産業創出交流センター
KITコミュニティ事務局（担当：井上、御手洗）
E-mail： j-kitc@keihanna.biz
電話：0774-98-2230／FAX：0774-98-2202

(4) 提出書類について

【様式1】「マッチング推進事業提案書」または【様式2】「有望テーマ事業化推進事業提案書」に記入し、電子ファイルを提出してください。

【様式1】ダウンロードはこちら 【様式2】ダウンロードはこちら

5. 採択について

(1) 審査の方法

応募書類等に基づき、必要に応じて提案者や外部の有識者等にヒアリングを行うことで、以下の審査項目ごとに評価を行い、当該評価をもとに、当センターが設置する審査委員会において審査のうえ、採択案件を決定します。

(2) 審査項目

- ① 新規性及び優位性： 保有する技術・商品・サービスに新規性及び優位性があること。またはマッチングによる技術等の組み合わせにより新規性及び優位性のある商品・サービスの創出が期待されること。
- ② 事業計画の妥当性： マッチング、支援により経営課題が解決され、新事業の創出・拡大が期待で

きる計画であること。または、マッチング、支援により技術課題が解決され、新規性及び優位性のある新技術・新商品の創出・展開が期待できる計画であること。
マッチングの場合、双方に利益をもたらす計画であること。

(3) 採択の通知

選定結果は、当センターから提案者あてに速やかに通知します。